

科目分類	看護専門科目 領域別看護		開講時期	2年	後期
科目名	母性看護学 I				
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	30時間	授業形態 講義
担当教員	野々山 未希子 ・ 柳澤 奈美				
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp(野々山) n-yanagisawa@tsuruga-nu.ac.j(柳澤)		オフィスアワー	指定なし 事前連絡必要	

授業目的	<p>周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)における母児の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、母児とその家族に対する看護を展開していく上で必要となる基礎的知識を理解する。</p>
授業概要	<p>妊娠前から周産期各期における女性と母児の特徴、各期の正常経過および正常からの逸脱について学び、各期の対象者および家族への看護について学ぶ。</p>
授業計画	<p>第1回 Family planning と妊娠の意思決定  第2-5回 妊娠期の看護  妊娠の生理と経過、胎児の発育と経過、妊娠期のヘルスアセスメント、胎児附属物の機能、妊婦の日常生活の変化とセルフケア、妊娠期の健康教育、妊娠期の正常からの逸脱、分娩の準備  第6-8回 分娩期の看護  分娩の生理と経過、分娩進行による産婦への影響、産婦の健康状態のアセスメント、分娩進行による胎児への影響、胎児の健康状態のアセスメント、分娩期の正常からの逸脱  第9回 器械分娩と帝王切開の看護  第10-12回 産褥期の看護  産褥期の生理と経過、褥婦の身体・心理・社会的変化のアセスメント、産褥期の正常からの逸脱、児との関係確立と家族再構築  第13-15回 新生児の看護  新生児の生理と経過、新生児の胎外生活と成長発達のアセスメント、新生児の正常からの逸脱</p> <p>第1回～第9回：野々山 未希子、第10回～第15回：柳澤 奈美</p>

<b>教材 参考文献等</b>	教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論 参考書：ナースの産科学 中外医学社
<b>成績評価 基準・方法</b>	試験 100% (1～9回 60% 10～15回 40%)
<b>履修要件</b>	特になし
<b>留意事項 その他</b>	<p>基礎領域で学習した解剖生理・病態・発達段階とホルモン変化の復習をしておくこと。また、各単元の予習・復習を行い、母性看護学の理解を深めること。</p> <p>本科目を修得していないと、母性看護学実習は履修できません。</p>
<b>実務経験のある 教員の教育方法</b>	助産師としての臨床経験を活かして、妊娠・分娩・産褥期の女性と、新生児の健康や発達について講義を行う。